

# モニター通信 No.6

皆さんから寄せられた「モニター通信2月分」を紹介します。

「消費生活モニターをして意識的に変わったこと」  
～令和元年度取り組まれて、どのようなご感想・ご意見をお持ちですか。～

## モニターから No. 1

私たちの日々の生活は継続的な消費活動により成り立っている訳で、それにより私たちは常日頃から研ぎ澄ました知見や感覚を構築していかなければならないと思います。個人個人の意思や感覚は自由ですが、それらには自ずと限度があり、そこで行政側に知見を求め解決する手段が最良の策と思います。

そのような背景の中、私自身高齢となり今後益々行政側に依存する機会が多くなると思いますが、まず自分自身の思考力を停滞させないよう、今後も消費生活センター等の身近な行政機関を利活用、また地域住民との掛け橋となるよう更なる啓発・研鑽に努めて参りたいと思います。

## モニターから No. 2

私はもう数年間継続して消費生活モニターをしています。誤った情報にまどわされない少しでも賢い消費者でありたいと思ったことがきっかけですが、続けてきて消費者として知っておくべきことの多いことや新しい情報を敏感にキャッチすることの必要性を強く感じるようになりました。たとえば訪問販売は決められた期間以内ならクーリングオフができることや、架空請求詐欺の新しい手口など知っておけば消費者の被害を減らすことができます。

また「消費生活」というものはこういった消費者問題だけでなく、エコや食品ロス、キャッシュレスなど世の中の様々な動きとも密接に関係していることにも気づきました。以前は消費者という販売されているものを購入し消費するだけの受け身の存在であると思われてきたのですが、最近は若い人を中心に品物やサービスを購入するときは、ネットで調べ比較検討してから購入するという動きが増えました。ネット上の情報はどこまで信頼できるかという問題はありますが、消費者が比較検討するための情報が簡単に手に入ることはよいことだと思います。

日本はまだ消費者の力は弱いと聞きました。メーカーや販売元に対して消費者一人一人の力は微力ですが、もし結びつくことができれば大きな力となり得ます。それができるのが今の時代であり、消費者はもっと自分たちの持つ力を自覚すべきだと思っています。

## モニターから No. 3

私達消費生活モニターは、市民の消費生活に係る問題を行政に伝えると共に、研修・研鑽により賢い消費者として自立することを目指しています。この大きな目標に向かって、過去数年モニターを務めさせて頂いていますが、この課題により過去を振り返って反省したいと思います。私達はモニター通信を通して日々の活動・研鑽を行う事になってはいますが、なかなか実行力が伴いませんでした。毎日の新聞紙上から得る課題の勉強、そして課題に対する実行力がありませんで

した。特に、身近な土浦市災害情報メールに基づく各種詐欺防止メール等見て、自分自身を正すだけでした。大衆行動を起こすにはモニター全体がワンチームになって行動することが不可欠との結論を得ました。今年は東京オリンピックの年です。私達も大きな目標に向かって活動を続けたいです。それには次について改めて提案します。

1. 消費生活モニターを研修性から活動モニターにします。
2. 消費生活センター活動のお手伝いを実行します。
3. 身近な消費生活センターからのビラ配布活動を随時実行し、問題意識を常に持って消費生活の改善に努める。(センターからのビラ配布が問題意識の原点と考えます。)
4. 研修会開催を多くし、前3項の知識力の向上を図る。

以上について考えました。実行を伴うのは大変なことです、一考頂ければ幸いです。

#### モニターから No. 4

通信テーマを通して消費者を揺るがしている大事を、第三者の目でなく積極的に自ら掘り下げ、問題意識を持って受け止めて行く大事を学ばせて頂きました。何事も他人事ではない自分事と意識を深めることが出来ました事もお陰さます。更に諸先輩方の視点観点に教えて頂きました事も多々ありました。

#### モニターから No. 5

消費生活モニター通信テーマに関して、自分なりに調べたり人と話したりして考えをまとめてきた。通信を提出後も、通信テーマと同じ内容についての報道を目にすると、興味を持って見ることができ、さらに自分なりに考えを深め行動することができた。“我が家のエコ技術”に関しては、レポートを出した後で、テレビ番組で、元プロボクサーのNさんの家のエコ生活について紹介があり、感心すると同時に、わたしの家でできそうなのを早速まねしている。

また、週刊誌Aでは、車と電車・バスの使用による二酸化炭素排出量の比較、豚肉と鶏肉・牛肉の消費による二酸化炭素排出量の比較等、日常の生活の事象について具体的に示されていて、改めて勉強になった。今までの生活習慣を大きく変えることは難しいが、少しでも二酸化炭素の排出を減らせる生活ができるよう心がけていきたいと思った。

#### モニターから No. 6

元号が令和になり、消費税が10%になって人々はエコに目を向け、食品ロスの削減に気を配り、人々の意識がどんどん変化してきています。スマホが老若男女を問わず浸透し、キャッシュレス決済がどんどん進んで、現金を持たずに行動できるようにもなりました。このように世の中が目まぐるしく変化してきています。モニター活動を通して様々な人たちの意見を目にし、一人一人が現実を受け止めそれに順応していこうと努力していることを改めて知り、自分自身も変わらなければと思いました。そしてこの活動で得た知識を、まだ知らない人たちに発信していくのも我々の努めだと再認識しました。

#### モニターから No. 7

今年度、消費生活モニターをさせていただき、一年が過ぎようとしています。毎回のテーマについて報告を書く度に、そのテーマについて日常生活ではまとめて考えてはいなかったけれど、

そういう取り上げ方をすればあれもこれもそういうことなのだと気付いたことが多かった。しかも、センターからの取り上げテーマが時宜を得ていて現代生活にとって重要なことであったので、自分以外のモニター報告を読みながら、いろいろな考え方があるものだと気付かされもした。テーマを設定するセンターの方々の勉強ぶりにも気付いたし、いろいろと勉強になった一年間でした。

#### モニターから No. 8

モニターとはどのような活動するのか知りたかったので、モニターに応募しました。

- ①年齢を幅広くしたほうがよいと思います。
- ②モニターの方々の交流があるとよいと思います。
- ③勧誘商法などのセミナーなどがあるとよいと思います。

上記①②③、私がモニターとして感じたことです。

#### モニターから No. 9

モニター活動が初めてでしたので、スタート時は凄く緊張しました。何から始めて良いか判らず、戸惑いを感じました。

廃棄物処理場の見学には驚きを感じました。今まで、ただ飯食って会社行って寝るだけの様な生活でしたから？意識も全くなし。どのように処理していくか勉強して、非常に良い経験でしたね。食品ロスの生々しい現状をみて、これが現実なんだ。一気に私の心にスイッチが入ったような気がしました。家に戻ってから、偉そうに我が家ではどうやっているか？聞いたら妻に叱られました。今更？だから男はダメだなあー。深く反省する事然りでした。主婦は皆、凄く強い意識持って家事してましたね。

それからセンターに持ち込まれた色々な問題があるかと思います。その問題に首は突っ込めなくても『ケーススタディー』として、モニター仲間ですどのように問題解決していけば良いかを検討するような勉強会など、機会が開催が出来たらもっと意識が変わっていたかと思いました。

また1年間活動してみて、ぼけ老人になる年齢が何歳か先伸びになったような感じがします。

#### モニターから No. 10

初めてモニターを経験して、家族で話すことが増えたことが大きなことではないだろうか。特にキャッシュレス決済については、かなり話し合いが続いた。コマーシャルがTVから頻繁に流れてきたため、自然に話が増えたのだろう。結論として各スーパー発行の電子マネーのみ使用することになった。その都度入金し、そして買い物をするシステムだ。それ以外、例えばクレジットカード系等は、還元率が良くても使用しないという我が家のルールを決めた。不安な思いを隠し、あやふやな理解のまま進むことはやめよう。もっと勉強し、納得してからでも遅くない。そうなった時にもう一度話し合い、家族で説明し合おうとなった。

また、食品ロス削減についても、処分場視察に参加し勉強させてもらった。この貴重な体験を日々の生活の中で、試したり活かしたりしていこうと思う。

#### モニターから No. 11

消費生活モニターとして、毎回のテーマに沿ったレポートを作成するにあたり、自分ならどう思うかとじっくり考える機会を与えられた。後日送付されるモニター通信では、ほかの人の意見を読んで「なるほど、そんな考え方もあるのか」と感心したり同感したりと届くのが楽しみだったとともに、なかなか普段の会話ではしないようなテーマだったので、とても為になった。

#### モニターから No. 12

消費生活モニター活動をして意識的にかわったことについて書かせて頂きます。私は今回身近な話題について考える機会を得た事で、改めて自分の生活を見直すチャンスを得たような気がします。今の自分に何が出来るのか、何を未来の子供達に残せるのか出来る事から始めてみようと思います。